真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	住まいの耐震性向上推進事業		担当課・係	建設部　建設課　建築住宅係
政策名　No	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	2	安全で快適な住まい・まちづくり		

	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
成果指標	住宅の耐震化率	%	92.5					95.0

事業内容

昭和５６年５月以前の旧耐震基準により建築された木造住宅は、耐震性能を満たしていない恐れが高い、市民の生命、財産を保全し、安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、旧耐震基準による民間木造住宅の耐震化を図るため、その費用の一部を補助する。また、地震発生時に石塀等の倒壊による災害を防止するために、石塀等の撤去費用等の一部を補助する。

前年度の課題（Check）

木造住宅の耐震化率を「真岡市建築物耐震改修促進計画（三期計画）」では、令和7年度末までに95.0%とする目標を掲げているため、さらなる耐震化率の向上が必要となっている。

7年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
- 木造住宅耐震診断助成：8件
- 木造住宅耐震改修・建替助成：耐震改修1件、耐震建替15件
- 木造住宅耐震建替県産出材使用加算：5件
- 耐震推進ローラー作戦（台町地区）
- 住宅総合相談会
- 耐震対策ガイドブック配布

【２】結果と課題（Check）

真岡市建築物耐震改修促進計画の改定により、木造住宅の耐震化率を令和12年度末までに96.0%とする目標を掲げているため、意識啓発及び補助制度の周知といった情報発信に力を入れ、引き続き耐震化率の向上に取り組む。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと

地震発生の危険性と建築物の耐震化の必要性の意識啓発と補助制度の周知を住宅総合相談会や耐震推進ローラー作戦などにより図る。

（2）長期的な計画で検討すること

住宅・建築物所有者に対する耐震化の必要性の意識啓発及び補助制度の周知に関する効果的な手法を検討する。